

5-1

より家庭的なショートステイユニットケアを目指して

ショートステイユニットにおけるQOL向上の取り組み

QOLの維持向上

ショートステイ

特別養護老人ホーム・至誠キートスホーム

介護職員 杉田 可奈子

山住 圭

立川市幸町4-14-1

TEL 042-538-2323

E-mail shisei-kiitos@shisei.or.jp

FAX 042-538-2324

URL <http://www.shisei.or.jp/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

特養70床、ショートステイ20床、通所介護、訪問介護、地域包括支援、居宅サービス支援センターを設置している。また、特養、ショートステイでは、2000年4月の開設時より、ユニットケアに取り組んでいる。

<取り組んだ課題>

- ショートステイユニットの現状把握
 - ショートステイのQOL向上への取り組み
 - ・ ショートステイ独自の活動がない
→アクティビティの充実
 - ・ 家庭的な居住空間作り（脱施設化）
→アメニティの整備
 - フロアー職員への認知徹底
- <具体的な取り組み>
- 職員への意識づけの徹底
 - ・ 勉強会開催し職員全員に対するアンケートを実施
 - ・ 活動マニュアルの作成
 - ソフト面（アクティビティ）の充実
 - ・ 個別活動（塗り絵、貼り絵、スケッチ、映画鑑賞、ステンシルでの年賀状づくり、米とぎ等）
 - ・ グループ活動（カードゲーム、ボードゲーム、買い物、外出、クッキング）
 - ハード面（アメニティ）の充実
 - ・ 居室の快適化（テレビを各居室に設置）
 - ・ 古い雑誌コーナーの設置
 - ・ トイレタリーの充実
 - ・ リビングの模様替え→利用者の作品を取り入れる
 - ・ 浴室の模様替え、入浴剤の使用
 - ・ ユニットに縁を設置
 - 活動の見直しと対策の立案
 - 職員、利用者に対するアンケートの実施
 - 効果の確認と評価の実施

<活動の成果と評価>

- 職員の評価
- ショートステイに光を当て取り組んだのが良かった
 - ・ 活動を通して利用者の表情が生き生きとしているように見えた
 - ・ 利用者同士の相互交流が見られた
 - ・ 入居ユニットではユニット独自の活動があつたが、ショートステイユニットにも独自の活動を作り出せた
 - 環境整備
 - ・ 温かみのあるユニットになった
 - ・ ユニット内の使い勝手が良くなかった
 - 利用者の評価
 - ・ 活動していると若返ったきがする
 - ・ 塗り絵は家に持って帰って貼った
 - ・ 米とぎは昔を思い出す
 - ・ 何回もトイレに入りたくなる
 - ・ 入浴剤を入れると夜よく眠れる
 - ・ 出来た作品を飾ってくれてありがたい
 - ・ 今後はもっといい作品を作りたい

<今後の課題>

- 利用者の個性を生かした活動の提供（より個別化）
- 各居室の環境作り
 - ・ コート掛け、タオル掛け等の設置
 - ・ 明るく温かみのある居室作り

<参考資料など>

「大人の塗り絵」 河出書房新社
「マンダラ塗り絵」 春秋社